

中学校岩石園に説明看板など設置



第666号
 発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
 編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
 (8月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,362人
 女 3,456人
 総人口 6,818人
 世帯数 2,127戸

わが校の宝 岩石園

憩いの広場として見学・散策を

村教育委員会では中学校中庭の岩石園に、岩石園の開設経過や中学校の位置、主要な山や川の表示板を設置した。

今回の設置については卒業生らでつくる「岩石園を守る有志の会」から、「県内でも有数の標本数と規模を誇る岩石園の歴史を紹介し、より多くの人に見てもらいたい」という要望があった。

豊丘中学校教諭 田中 良

豊丘中学校には昭和四十四年度〜四十六年度各卒業生合同の卒業記念事業で建設された岩石園がある。園内は上伊那南部〜下伊那郡全体の地質が、約千四百個の岩石標本により五千分の一の縮尺で復元されている。



岩石園の手入れをする科学技術部員生徒

当時の記録によれば、岩石園は、保護者・職員が三年間かけて現地から採集したものである。園内の土盛り・地形造り・基礎工事・標本搬入・標本研磨等の作業は生徒が行っている。

設計は当時本校に勤務されていた松島信幸先生(理学博士)がされた。旧通産省地質調査所の山田直利氏は、この岩石園を見に来て完成度の高さに驚き、三年間かけて生徒とPTAが一緒に造り上げたことに「感激した」と綴っている。

今年には教育委員会・村のご配慮により園内に学校の位置と主要な山の名板をつけていただいた。

天竜川の西には、中央アルプスの山々が高まりを見せている。校歌に歌われる南駒ヶ岳の位置も今回事の、一目で分かるようになった。南駒ヶ岳は水河地形の

カールが見られる山だ。人里から水河地形が見えるのは伊那谷だけだと聞く。

東に目を転じると、南アルプスの大きな高まりに目が向く。その手前には中央構造線の谷が南北に走る。中央構造線は日本で一番大きな断層で、この続きは四国を通り九州へとつながる。

この谷の東と西では岩石の色が違う、地質が異なることが分かる。東側の岩石は海洋底でできた岩石等で、プレートにのって運ばれた本列島に附加されたものだ。西側はマグマが冷えてできた火成岩等からなり、豊丘の地質はこちらに入る。

岩石園の目的の最後には、「岩石園を憩いの広場とし園内は自由に見学、散策を楽しめるようにし、生徒の情操を育て自然を楽しむ広場にしたい」とある。このこと

毛涯章平先生が亡くなりました。去る七月十八日、九十二年の生涯を静かに閉じられました。子ども達に寄り添い、温かい眼差しで見守り続けた生涯は、子ども達にとど



毛涯章平先生 逝去

も達にとどまらず多くの人々に感銘と生きる勇気を与えていただきました。人間の持つつおかしみや哀しき、生きる意味にこれほど愛情深くわかつている方を他に知りません。

先生は大正十二年、飯田市千代に誕生され、昭和十八年、現在の信州大学教育

も達にとどまらず多くの人々に感銘と生きる勇気を与えていただきました。

読書は心の糧

高遠町藤沢小学校校長、信大附属長野中学副校長、高陵中学校長を歴任する中、下伊那教育会長、同校長会長、県中学校長会長などの要職につかれ県下の教育振興に尽くされます。どんな場合も「子ども中心の教育」「教師は常に向上心を持ち研鑽を怠らない」「地域の人が信頼され支えられる学校作り」を基本理念として任に当られました。

現役を退かれた後は、昭和五十九年から二十二年の長きに亘つて本村教育委員として、その大半の十七年間を委員長として教育行政の諸課題に卓越した指導力を発揮されました。特筆すべき事多々ある中で、「誕生日本」制度の提唱はその最たるものの一つでしょう。今は一歳から中学三年生まで十三回のプレゼントを村長自らの手で渡される日を楽しみにしている児童は豊丘村には居りません。

それにしても奥様はいい方を豊丘村にお連れくださいました。平成十七年、国は毛涯ご夫妻に「瑞宝双光章」を贈り、永年のご苦労を讃えました。

(豊丘村教育長 寺沢直勝)

ある二ユースで「今年の夏は昨年より暑くなります」と流れていましたが、確かにジメジメした暑さが続いています。夏といって思いつくことは何でしょうか。きっと子どもの頃の自分から「夏休み」と即答するはず。そのぐらい子どもにとって夏休みは特別なものではないでしょうか。

夏休みは楽しいイベントが多いですが、『ラジオ体操』はまた特別違ったイベントですね。せつかくの休みなのに、早く起きて六時半には集合場所へ…。正直楽しいイベントではないのですが、大人になった今でもあの雰囲気は懐かしさを感じます。皆で寝ぼけ顔で体操をし、終わりに清々しい気持ちになっています。更にスタンプを押してもらい嬉しい気持ちになり、友達と話をしながら帰る…。といった日課が習慣になり、参加できない日はもどかしい気持ちになりました。

しかし、今ラジオ体操を知らない子どもが増えています。少子化に加え、共働きをしている家庭も増えていき、子ども会自体の参加が困難になっているので、ラジオ体操にも参加しなくなっているのです。

時代が変われば現状も変わっていくのは当たり前ですが、それでも変わって欲しいものがあると、最近しみじみ感じる日々です。

(熊谷由紀乃)

第3回

リニアの声

次世代へ繋ぐ 豊丘を描く

柿外土 丸山恒夫

国家的大プロジェクトのリニア新幹線は大きな経済効果が言われています。新たな産業や雇用の創出といつた面では大きなメリットは考えられます。一方そこに住む生活者として考えると、自然環境や生活環境の面でリスクも考えなければなりません。工事が始まり開業までには様々な課題が示されてくると思います。大切な事は、そんな課題に対応しながら二〇二七年の開業時にどんな豊丘村になっているかということだと考えます。

車社会と言われる現代、新幹線の駅が出来たからと

いつて即、地域発展に結び付くものではないと思えます。必要条件の大きな一つとは言えますが、それで充分というものではないと考へます。最近の新幹線の整備過程を見ても、当初の目論見通りの人の動きや地域発展の出来ていない事例を多く目にします。人は目的を持って移動し



人を呼び込む環境づくりを進めるには

ます。ほとんどトンネルの中を走るリニアの利用者は、目的地向の移動手段としてリニアを選択している人達です。その目的地の一つとして豊丘村を選択してくれらるかどうかが大切です。魅力ある目的地としての豊丘村をどの様に描いて具現化していくか、今の豊丘村を生きる私達がしっかり考へていかなければなりません。通過点ではなく、訪れてみたい、住んでみたいと思ってもらいために何が必要か考へなければなりません。人が暮らし、産業、歴史伝統、文化が育まれ、自然と共生しながら日々の生活が営まれているのが田舎の風景だと思えます。都市部に暮らす人達にとつては、ある意味、非日常で魅力ある風景だと思えます。これをどの様にして次の世代に繋いでいくのか、今を生きる私達の責務であると思えます。

今、豊丘村はふるさと納税で注目されています。特産の松茸とおいしい果物は人気で、これは豊丘村を訪れてもらう大きな武器になると思えます。他にも「村まるごと六次化の村づくり構想」による「村の駅」計画、中山間地整備計画によ

る果樹団地内の農道拡幅等、人を呼び込む環境づくりを進めて来ています。今年から「ワーキングホリデー」への取組みも始め、外への情報発信で若者の定住促進を目指しています。福島では棚田の再生がなり、「てっぺん公園」も完成しました。維持管理は大変な事だと思えますが、地域で共有できる核が出来た事は素晴らしいと思えます。

誰かがやってくれるのではなく、できない理由付けを語るのではなく、どうしたら出来るかという発想で考へなければ前には進めないと思えます。リニアの開業時、豊丘村に自信を持って前を向き顔を上げて自分の出来る事にチャレンジしている住民で溢れていてほしいものです。

大正十四年に、七人きょうだいの長女として、農業を営む両親のもと上郷に生まれた。農家でありながらきょうだい揃って農業嫌いで、親を嘆かせた。終戦時は十九歳、暗い青春時代であったが、家族が戦争の影響を受けずに済んだのは本当に幸いであった。学校卒業後はしばらくの間、家の手伝いをし

頭・手を働かせて健康長寿

シリーズ「元気な高齢者」②

鷹見千恵子さん 九十歳

北入在住



週一回はつらつクラブに通い、皆さんと童謡、唱歌等を歌い、心が和やかになるのが楽しみと言われる千恵子さんにお話を伺った。大正十四年に、七人きょうだいの長女として、農業を営む両親のもと上郷に生まれた。農家でありながらきょうだい揃って農業嫌いで、親を嘆かせた。終戦時は十九歳、暗い青春時代であったが、家族が戦争の影響を受けずに済んだのは本当に幸いであった。

百個近くにまでなるとか。手と頭を働かせることが嫌いで、常に働かせ通し。それが何よりの頭の健康法ですと、語ってくれた。十一年前に御主人を亡くしてからは一人暮らしであるが、座光寺に住む娘さんが毎日、また塩尻に住む息子さんは毎週、様子を見に来てくれる。この孝行な二人の子供さんのおかげで、健康を維持できている。また、きょうだい全員が健在であることが何よりも嬉しく、皆で幸せを噛みしめている。

また、健康法を伺って驚いた。新聞紙等の余白部を利用して、漢字の偏を何か決めてお書き出すのだ。例えば、シ、木、才等。多い時には

更には麻生副総理の最近の発言に対して、激しい憤りを発せられるほどの熱い気持ちを持ち合わせているのも、健康長寿の源であると感じた。

文責 桐崎 長一 宮下 正弘

奇稿 終戦記念日に寄せて

戦争を知らない子供たち

柿外土 片桐林三

「戦争が終わって僕らは生まれた、戦争をしらずに僕は育った。……」

終戦後七年して生まれてきた私も、もうとうに還暦を過ぎてしまった。自分自身は、全く戦争を知らない世代ではあるが、この戦後七十一周年日々世界のどこかで絶え間なく繰り広げられている愚かな紛争や戦争

テロに対し、日本が平和を保つていられて、日本というこの国に生まれて本当によかったですと思っている。まだ小さかった頃、両親や祖母に空襲の話や学校での竹槍訓練の話、また飢えや貧困の話など聞いたことがあるが、子供ではなかなか理解することがむずかしかった。近年はテレビやネッ

トの進化と共に当時の映像を目にすることが多くなり、改めて戦争の悲惨さ・酷さを実感することが出来る。戦後七十一年たった今日、戦争を体験した世代が年々少なくなっている。時間とともに戦争の記憶は薄れ、風化していく。戦争で多くの辛苦に耐え、戦後の復興、高度成長、今日の繁栄を築き上げてきた世代の経験や思いを、私たちは風化させてはいけない。

戦争を体験した世代からそれを引き継ぎ、後世に残していく。そして、今ある

五月末サミットの折、オバマ大統領が広島を訪問した、二人の被爆者代表との握手と抱擁の映像は世界を駆け巡った。ノーベル平和賞を受賞した氏にとつては当然と見るか、また精一杯の謝罪であったか。広島訪問にあたり謝罪すべきかどうかとの論議が日米双方に在ったが、米国内には謝罪すべきでないとの世論が多かったようで、一方日本では、特に被団協のオバマ氏

に対する招請文では謝罪は特に求めないとの内容だった。これが氏の背中を押したのか、また残り少ない任期の中、在任中の遺産の一部にと思つたか。演説の内容も、「空から死が落ちて来た」と他人事のような部分には有ったにせよ、全体の内容は良かった。

一方、安倍総理は中国や韓国に次世代まで謝罪をさせる訳にはいかぬなどと言っているが、これは自分の事

を言っているようにも見えらる。オバマ大統領も安倍総理も戦後生まれで、どちらも祖父の時代の出来事である。過去の戦争で旧日本軍が中国や韓国をはじめ東南アジア諸国に行なった蛮行こそ、安倍総理の祖父の時代に謝罪しておくべきであつたと思う。東京裁判など戦勝国のでっち上げだの、憲法もGHQの押し付けだのと、何も無かつたかのような誤った歴史認識を教えられて育った総理「国民も同列」にしてみれば、なぜいまさら謝罪を、となるかも。未だ中国も韓国も日本を信用していない。安倍総理が誕生してから、特に中国の警戒心が増幅したように思える。海洋進出もその一

環かも。戦争はどの国もまた何処でも同じ様な事がおきる、だから何も無かつたはずが無い。明るみになったから謝罪すれば弱腰外交になるのか。中国が戦後補償は求めないと言つたのは、日本国民も被害者で、靖国に合祀されている一部の軍国主義者の責任であるからと。中国が靖国にこだわると。中国が靖国にこだわると。中国が靖国にこだわると。中国が靖国にこだわると。

謝罪は弱腰外交か

北市場三 山本義彦

平和を次の時代に受け継いでいくことが、我々の使命であると思つている。

だの進化と共に当時の映像を目にすることが多くなり、改めて戦争の悲惨さ・酷さを実感することが出来る。戦後七十一年たった今日、戦争を体験した世代が年々少なくなっている。時間とともに戦争の記憶は薄れ、風化していく。戦争で多くの辛苦に耐え、戦後の復興、高度成長、今日の繁栄を築き上げてきた世代の経験や思いを、私たちは風化させてはいけない。

戦争を体験した世代からそれを引き継ぎ、後世に残していく。そして、今ある

五月末サミットの折、オバマ大統領が広島を訪問した、二人の被爆者代表との握手と抱擁の映像は世界を駆け巡った。ノーベル平和賞を受賞した氏にとつては当然と見るか、また精一杯の謝罪であったか。広島訪問にあたり謝罪すべきかどうかとの論議が日米双方に在ったが、米国内には謝罪すべきでないとの世論が多かったようで、一方日本では、特に被団協のオバマ氏

に対する招請文では謝罪は特に求めないとの内容だった。これが氏の背中を押したのか、また残り少ない任期の中、在任中の遺産の一部にと思つたか。演説の内容も、「空から死が落ちて来た」と他人事のような部分には有ったにせよ、全体の内容は良かった。

一方、安倍総理は中国や韓国に次世代まで謝罪をさせる訳にはいかぬなどと言っているが、これは自分の事

武田信玄のろし上げ 昔の通信手段「のろし」のリレーを体験しよう と き：9月3日(土) 10時15分点火 ところ：林原運動公園(村民体育館上) 主催：豊丘村公民館 協力：豊丘史学会

慈恵園にて 通学合宿始まる

教育委員会では今年度で四回目となる通学合宿を七月から実施している。参加者は南北小学校の四年生五十四名。今回は初の試みとして、合宿前に南北小四年生の事前交流会を開催。児童たちは班ごとに自己紹介をしたあと、合宿中の自由時間の過ごし方や夕食作りの役割分担決めなどを話し合った。さらに、合宿中の自由時間は夕食材料の買出し、三日目はカレーとサラダづくりに挑戦している。これまでに三班が合宿を終え、九月には残る二班の体験が控えている。

通学合宿に寄せて

主任教育支援員
塩澤孝雄

四年目の通学合宿が始まりました。この活動が両校の児童にとってより深い関わり合いを育む場となるように願い、本年度から合宿の事前学習を兼ねて学年交流会を実施しました。この場では合宿中の余暇活動や夕食づくりの係分担等について話し合いも行いました。今年から夕食づくりに、自分たちの手で飯ごうを利用してご飯炊き、カレー、サラダづくりなどを行っています。特に飯ごうを利用しているのは、児童のほとんどが初めての体験で



ご飯の炊き方を確認

「飯ごうから水が出始めたよ。どれ？本当だ。」「飯が焦げた臭いがしてきた。」とあり、係になった児童は、失敗しないようにと煙に燻された涙目をこすりながら火力を調整するなど、真剣な表情で取り組んでいました。「飯ごうから水が出始めたよ。どれ？本当だ。」「飯が焦げた臭いがしてきた。」と誰かがつぶやくと鼻をヒクヒク動かしながら確認しあう姿。火から下ろした後、出来ばえが心配で心配で仕方のない様子。そとと蓋を開け真っ白なご飯が見えたときの歓声。飯ごうの係になった子どもたちの達成感を体得できた瞬間でした。参加した子どもたちからは「飯ごうで炊いたご飯は、お焦げがあつてとてもおいしかった。カレーやサラダ作りで皆と協力してつくったのでよかった。」「炊いたご飯はちよつと焦げたところもあつたので、火を弱くすれば良かったと思つた。おいしかった。」などの感想が出されました。また保護者からは「喧嘩をする兄弟でも、四日もいないと寂しいしつもらない」という言葉が聞けて、皆が家族の大切さを実感できたように思う」等々の感想が聞かれ、この合宿がより深い学びの場となっていることを感じています。

こちら資料館 166 「河野村研究会」来村

東京にある立正大学の先生・学生七名が八月六日に来村し、豊丘の史跡や古文書の勉強をしていきまし

た。この一行は同大史学科の藤井助教が指導する「河野村研究会」といいます。しかし、河野や豊丘に縁のある会員は一人もいません。きつかけは藤井先生が偶然入手した天保年間(江戸末期)の河野村の名主文書一七〇点でした。当時の飢饉に関するものが主たそうですが、古文書を研究する格好の教材と考え学生有志

を集めて研究会を立ち上げたといいます。研究し始めるとなかなか面白く江戸期の河野村に益々興味を湧いてきたようで、藤井先生は今年二回も当資料館に来て古文書や史料・旧家調べをしていきます。今回の現地調査では、資料館をスタートに「多勢子墓所」「泉龍院」「名主家墓」をめぐります。唐澤武彦(資料館主任)



等々をめぐり、豊丘が全く初めてです。学生さん達でしたが、史跡は勿論、段丘の景観や目にしみる緑も強く印象に残つたようです。今回は古文書が結んだ偶然の縁でしたが、都会の人に「豊丘を知り、豊丘を伝える」一助になればと願っています。

メディア リポーター 養成講座 開講

本館主催の「地域メディアリポーター養成講座」が七月二十七日(水)の午後七時から交流学習センターゆめあ

ら交流学習センターゆめあを各方面に発信していただくこと。②記録された情報をアーカイブ資料として図書館や資料館に保存し、活用させていくことです。初回の受講者からは「これまで自分が撮影した映像に特段問題はないと思つていましたが、ズームを多用すること不安定な映像になることがわかった。」などの感想が

るで開かれました。講師は豊丘村役場総務課広報係の職員で、カメラやマイクなど機材の取り扱い方法などを講義していただきました。この講座の目的は、①伝統芸能や地区の行事などを独自の目線で記録していただく「地域メディアリポーター」を養成し、豊丘村の魅力



ご飯が炊ける匂いがしてきたかな

聞かれました。今回は八月二十四日(水)で、構図のつくり方や照明の使い方などの講義を予定しています。関心がある方はいつでも受講が可能です。詳しくは公民館☎三五一九〇六六へお問い合わせください。(本館主事 竹村久永)

とよおか 100年前 『豊丘村民話集』より

ある時の怪 ② 小沢万里

(前回のつづき)
男の足音が消えると、急に静寂になった。時計を見ると三時。夜明けまであと三時間もある。そのあいだ山奥の一軒家に女の死人と二人である。死人の方を見ないよう一心に火を焚いて夜明けを待った。風が少し出たようである。

なんだろう。狐狸の類か、まさか死人が生き返つたのか。腕を組んで心臓の鼓動を押さえていると、誰かが家のまわりを歩いている気が配する。と、突然、ゲラゲラと笑う声がした。しかも女の声である。笑いなから家の周囲を歩いているらしい。そのうちに風で戸間

隙間風で灯明の火の消えなようにと心に祈りながらとどろき布団を見た。初めのうちは異常がなかったが、しばらくして見たとたんに心臓が破裂しそうな勢いで鳴り出した。黒い夜具の襟から見える、油気のないボサボサ髪の間からスツツと手が出て枕元の菓子をつとり、そのままスツツと布団の中に入った。たしかにこの目で見たのだ。

どこか遠くで「オーイ、オーイ」と呼ぶ声がする。眼を開けると、ああ気がついたという声が聞こえる。夜は明けたいらしい。昨夜、死人の番を頼んだ男の心配そうな顔がのぞき込んでいた。急に昨晩のことが頭に浮かんだ。とび起きて昨夜のことを男に話したら、男はすみませんと頭をかきながらあやまった。死人の寝床からの手は、

口が開いたのかとそちらを見ようと、白い顔に黒い髪をたらした若い女が立っていて、ゲラゲラ笑っているではないか。女は私を見ている。ゲラゲラ笑いながら近づいてきて、突然キヤツと声を立てながら私にとびかかってきた。それっきり私は何もわからなくなつた。

子供が母親の死んだことも知らずに寝てしまったので、母親の寝床へ一緒に寝かせておいたのだが夜中に目をさまして、腹が減つたのか枕元のお菓子を一つとって引つ込めたに違いない。ゲラゲラ笑う女は私の妹で、二、三年前から気が違つてうろろろしておるのだが、前もつてお話ししておかなくて申し訳ありませんと幾度も頭を下げた。訳を聞いてみると急に恥ずかしくなつて、朝食をすすめられるのを断つて早々に山を下りた。

(豊丘村民話集・第巻輯
(昭和五十二年)より)
文責 壬生雅穂

県功労者表彰受賞 —前社会教育委員の森田恵子さん

六月に開かれた長野県社会教育委員連絡協議会の総会で、豊丘村前社会教育委員の森田恵子さんが功労者表彰を受賞されました。森田さんは豊丘村社会教育委員として平成十八年四月一日〜平成二十八年三月三十一日まで五期十年間に亘り、社会教育委員として豊丘村生活リズム改善村民運動における「早寝・早起き・朝ごはん」の推進や豊丘村南北小学校四年生を対象とした通学合宿の企画・立案・運営等に多大なるご尽力をいただきました。また、男女共同参画運動



豊丘村教育委員会で行なわれた伝達表彰式

数多くのご提案やご助言を頂戴しました。(本館主事 竹村久永)



豊丘48オールスターズ快挙

長野県壮年ソフトボール大会が六月十八日と十九日に飯田市で開催され、「豊丘48オールスターズ」がみごと優勝しました。

今回、強豪二十九チームの頂点にたった豊丘48オールスターズ。普段の練習を怠らないのはもちろん、四季大学などに積極的に参加して更に技術を磨くなど常に向上心を持って取り組んでこられた結果だと思えます。

九月には長野県の代表として秋田県で開かれる全国大会に出場します。

無欲が最高の結果に
監督 片桐正博

六月に行われた「長野県壮年ソフトボール大会」で優勝してしまいました。昭和四十八年度生まれがほとんどの我々は、二年ほ



豊丘の名を背負って全国へ

ど前からは四十歳以上の「壮年」というカテゴリーの大会にも出場してきませんでした。ハイレベルな約三十チームによるトーナメント戦で、決勝までいくと二日間で五試合を戦うという過酷なものでした。

みんな頑張りました。どのチームよりも少数で小柄なコンパチの活躍は光りました。コントロール抜群のエースを中心に、そこそこの守備力で五試合合計四失

豊丘の自然

~シリーズ~ No.154

オミナエシ (オミナエシ科)



「山田君、新庁舎の庭に秋の七草を植える事から始めたらどうかね。」毛涯章平先生のお言葉。私が豊丘北小を最後に教職を終えて教育委員会の講師でお世話になった時の事だ。学校では一緒にしたことはなかったが、海外研修旅行に出かける前、教頭を校長に昇格される時、軽井沢西部小の職員研修、高森町民生委員会での研修など、何

度となくお世話になった。そんな先生が先日、お亡くなりになった。ご冥福をお祈りします。

ところで、学校現場は、ゆとり教育(総合的な学習の時間)からアクティブ・ラーニングを中核にした教育に移行するらしいが、今後の教育、気になる。そして、先生の存在の大きさをあらためて感じている。

(山田 拓)

どうぞよろしく

新しい 図書館司書



自分に合った情報を見つかる図書館に
図書館司書 関口京子

七月から、司書として、村図書館でお世話になっております。どうぞよろしくお願ひします。ずっと、本に携わる仕事をしてきました。こんなに新しく綺麗な図書館に勤めることができ、とても嬉しく思います。

現在、インターネットで瞬時に知りたいことがわかる時代になっています。そんな中で、本というものがどういう役割を成すのか。確かにネットは便利ですが、すぐにわかる分、すぐ忘れてしまいます。また、漠然とした事を調べたい時は、

点と踏ん張りながら、機動力の弱さを小技でこまかし、好調だった打撃で得点を重ねて勝ち上がっていきました。決勝戦も終盤まで0対0の緊迫した試合でしたが、最後に打線が繋がって勝つことができました。毎週やってきた練習が実を結び、感激した瞬間です。

今回は大会前からケガ人が非常に多く、今までで一番期待できないコンディションでしたが、無欲が良かったのか最高の結果となり、こういうものかと思うところですね。

九月に秋田県で行われる日本スポーツマスターズ全国大会に、長野県の代表として出場します。全国の強豪相手に歯が立つとも思えませんが、『豊丘』の名も背負って頑張ってください。

ふるさと大使の丸山先生には四季大学などで大変お世話になってきました。日本代表選手たちの実技講習や東京理科大学と親善試合をしていただいたりと、間違いなくチーム強化に繋がっています。今回の結果で少しだけ恩返しできたかなと思います。

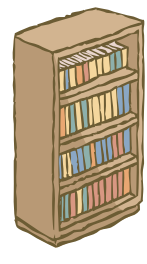
俳句 短歌

山若葉夕日と沈む寺の鐘
石佛曆日の苔夏日濃し
名刹の紫陽花色を極めをり
狭庭に濡れ色濃かり山紫陽花
梅漬けて毎日一個朝の膳
笹百合の開花うながす山の風
二人静横目に姫かしましい
古代蓮の香風にのりて朝御堂
辣蕪漬夫我のかめ句はせる
七変化うかうか耳順の誕生日
梅雨晴間隣のカフェの匂ひ来る
留守がちの我にサルビア火を殖す

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
下平 玲子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
北原 昭子

〈短歌会 夢あるて〉
玄関に小さき靴が二つ三つどの靴はいて今日はどこいく
備中緞に初めて触れる十七歳農業体験 姪といも振る
にぎやかに束求めいたひなつばめ今は目の前はげしく飛べり
松尾ヒサコ
松下 泰見
新調の衾の香る作業帽白く陽に映え夫若く見ゆ
福澤貴美恵
中学の同級会の二次会は陽の落ちるまでってペン公園
大原真由美
百歳になる朝眠つぶりと弟子のひとりの電話みじかし
富永 博道

案内時間がかかってしまい
ます。そうした時に本は、一度にまとまった情報を読むことができ、大変便利です。ネットの情報は絶えず変化し、修正があつてもわからない事が多いですが、本はいつまでもその本のままで、一定の判断基準として役に立ちます。また、ネットは情報機器がないと見られませんが、本は手に取れば誰でも見ることが出来ます。情報あふれるこの時代、



柳

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「柱」 久保ひろし 選

ナスキユウリ支柱で耐えてよく実る 安田 喜子
肩の荷の大黒柱にゆずり 福沢 勝美
我が村の柱はやはり人の和だ 吉川 燎
柱とも杖ともなつて支え合う 西元 峯子
軸吟：五十年柱の傷が薄くなり

▼課題「指」 互選

めんどりが指揮とる家や国が増え 桃沢 健介
けんしょう炎右親指がストライキ 林 桃子
鍛えられ軍手の似合う指になり 原 美風

▼自由吟 桃沢健介 選

大笑い皺のびのびのミニ集会 市沢 照子
指導会聞いてる方が教えてる 久保ひろし
健康書買いダメしたが開かれず 小澤 凜
軸吟：争点を隠して多数奪い取る

〈八日念〉
世の中に不思議な事は数あるも蜜蜂の生態驚くばかり
寺元 和実
川開きに伊那節の歌流しつづ舟の二双がくだりてゆけり
松島 八重
生まれきていかほどならん蚊は吾を刺して「ばちん」と潰されてゆく
河原 梨花
暑き日の合間の雨を染しむに洗濯物は少し気になる
吉澤 新子
五十年の歳月を無事故で過ごしたるバイクに感謝の「ありがとう」
紅 梅

〈あしたば短歌会〉
昭和初期の風呂もトイレも外にあり風呂水汲みし遠き思い出
壬生 千春
投函に行く道すがら友に逢いいつもの癖で長話しする
大倉 知江
ジーンズの裾たくしあげ若者のリズムミカルなる草刈機の音
毛涯百合子
朝早く小学校より太鼓の音響けば老いのころ高まる
久保田 妙
進化してゴーカートのごと草刈機に若者乗り込む口笛吹いて
北澤 秀子
悲しみのまた甦る畏友の忌は凌霄花の盛る真夏日
福澤 亀人